

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ふるさと安曇野「案内人育成&情報発信」事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団 安曇野市穂高柏原 1132-2
事業区分	(5) 環境保全・景観形成に関する事業 (6) ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	886,756 円 (うち支援金 : 648,000 円)

事業内容

国営アルプスあづみの公園と協働で開催している「さとやま楽校」の案内人の教室に、平成27年度の「導入編」、平成28年度の「実践編」に続く「企画編」を開講した。「企画編」では田園集落である三郷中萱地区を事例とし、企画立案に主眼を置いた6回講座として開催した。

また、過去3年間の講座内容(導入編、実践編、企画編)を再編集し、「安曇野の案内人をめざして～案内の企画から実践まで～」としてまとめた。



【企画作成WS】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

案内人の教室(企画編)に13名、オープン講座に65名の参加があり、景観意識の向上と案内人の育成に効果があった。また、作成したテキストの活用により、県主催の「風景の語り部講座」や松本ホスピタリティカレッジへも活動が広がった。

(専攻講座)

案内人の教室企画編【6回講座】 13名

(オープン講座)

ふるさとウォッチング三郷中萱 47名

ふるさとさんぽ堀金田尻・穂高新屋 18名

(その他)

長野県風景の語り部【5回講座】 27名

【目標・ねらい】

- ①景観意識の向上
- ②案内人の育成
- ③テキストの作成
- ④テキストの活用

※自己評価【A】

【理由】

講座開催とテキスト完成により、継続的な案内人育成のしくみが構築できたと共に、県の風景の語り部や松本ホスピタリティカレッジへ活動が広がっている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

過去3年間の講座内容をまとめた「安曇野の案内人をめざして～案内の企画から実践まで～」を活用し、独自予算にて案内人の教室を継続して安曇野の案内人の育成を図っていくと共に、長野県や松本市以外にも活動を広げ、広域的な着地型の観光振興へとつなげていく。また、平成30年度にスタートする「安曇野ふるさと遺産」事業でも人材を活用し、安曇野の景観育成活動を広げていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある